

1 まとめ

静岡県の未来を担う人材の育成のためには、後期中等教育から高等教育にかけて有機的に連携を深めていくことが重要であり、本検討委員会で提案する「新しい実学の奨励」、「高校と大学の教育上の連携促進」、「静岡型飛び入学の導入」、「柔軟な高大接続の促進」といった取組を、適切かつ総合的に実施していくことが求められる。

高校と大学の連携や接続については、現在、国において抜本的な制度の見直しに向けた検討が進められているが、政策として実行されるまでには相当の時間を要することが見込まれることから、県においては国の動向を十分に把握しつつ、まずは、現行制度を柔軟に活用することで、すぐに実施できるところから取り組んでいくことが必要である。

2 各主体に求める取組

高校 大学	・各学校の教育方針や目的、特色、個々の生徒・学生の能力や適性、意欲等に応じ、報告書に記載した取組を積極的に実施していくことを期待する。
企業 等	・今回検討した教育システムは、幅広く地域を支え、本県の発展に寄与するとともに、グローバル社会でも活躍できる人材を育成するためのものであり、こうした人材が活躍する場としての企業等の協力を期待する。
県	<ul style="list-style-type: none"> ・高校や大学等の取組を支援するため、必要な情報提供や連絡調整、財政的支援、その他の環境整備に努める必要があるとともに、企業や県民の意識改革のための啓発活動等を行うことも必要である。 ・後期中等教育と高等教育の連携や柔軟な接続を考える場合、その主体は高校と大学に限定されるものではなく、目的等によっては専修学校（専門学校）や高等専門学校等も含めて考えることが必要である。 ・初等教育段階からの連携や接続についても今後検討していくべき課題であることから、初等教育から高等教育、生涯学習まで、総合的な教育システムの在り方について更に議論を深めていくことや、高校、大学、企業、県民の意識等に関する調査研究を行っていくことが求められる。

高校と大学の連携・接続のあり方検討委員会 ～創造性を育むために～

最終報告書に関するお問い合わせ先

検討委員会事務局（静岡県文化・観光部文化学術局大学課）
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号 TEL054-221-3275

高校と大学の連携・接続のあり方検討委員会 ～創造性を育むために～
最終報告書の概要

I 静岡県の未来を担う人材育成のために

1 考え方

一人一人の能力や適性、意欲に応じた多様で柔軟な教育を、特に義務教育修了後においてより一層展開するため、生徒たちが真に学びたい分野や興味を持つ分野へと進むことができる仕組みを構築するとともに、高校と大学の連携等を推進する。

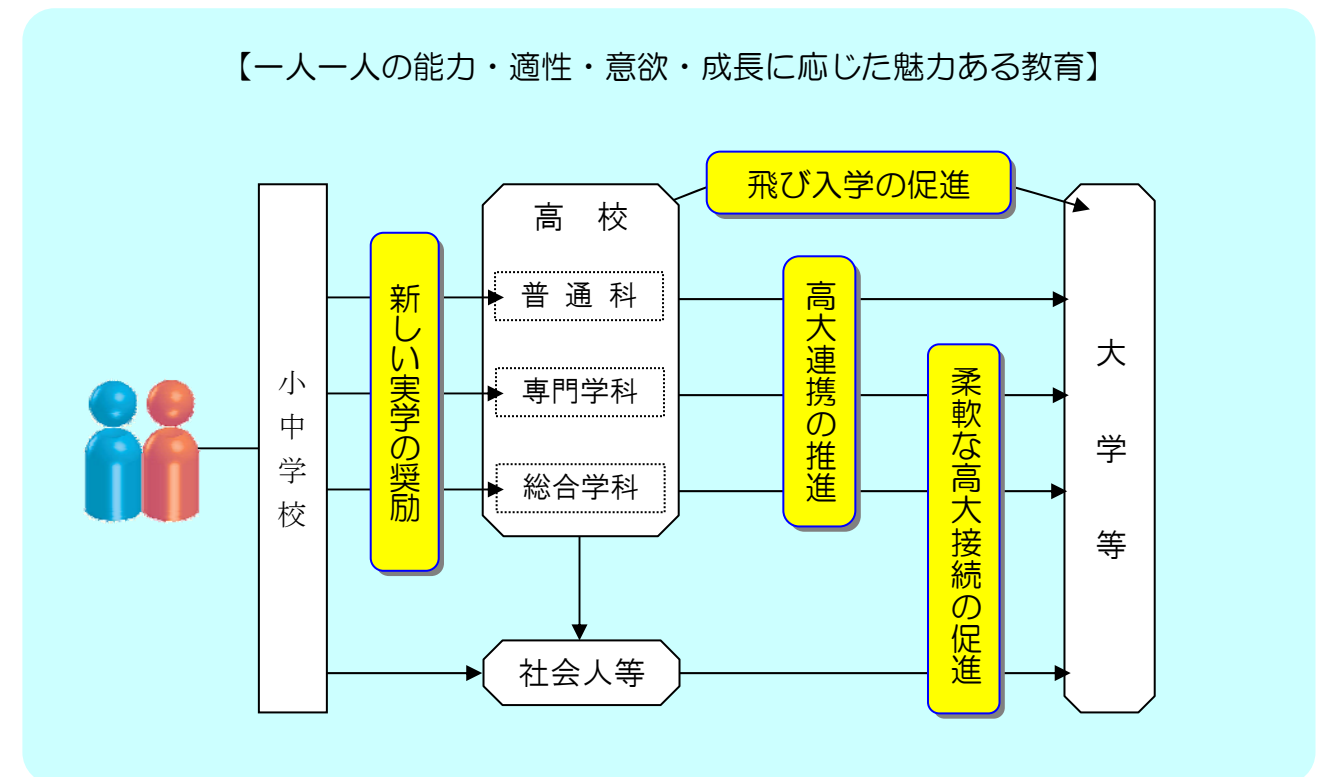
2 取組の柱

○新しい実学の奨励

- ・農林水産業、工業、商業、芸術、スポーツの分野において若者の資質や才能を伸ばすことのできる、実践的な学問としての「新しい実学」を奨励する。

○高校と大学との連携強化及び柔軟な接続の促進

- ・高校に籍を置きながら、より高度な教育内容に触れることが適切な生徒に対し、早期に高等教育に触れる機会を提供するため**高大連携を推進**する。
- ・十分に大学レベルの教育を受けることができる高い能力と意欲を持つ生徒に対し、早期に高等教育に進むことができるよう**大学への飛び入学を促進**する。
- ・専門高校等の生徒や社会人に対し、大学において専門高校等に配慮した入学者選抜を実施したり社会人を積極的に受け入れたりするなど、**柔軟な高大接続を促進**する。



II 新しい実学の奨励

1 考え方

偏差値や主要5教科に偏った画一的な教育により、個人の多様な強みを引き出すという視点が不足している現状に対応するため、新しい実学の分野で能力を発揮する若者を社会的に評価し、個々の能力や適性に応じた多様な進路を選択できるような環境を整える。

- ➡ ① 義務教育修了後の「新しい実学」の奨励を担う教育機関の充実
- ➡ ② 学校教育の中で副次的に扱われている芸術やスポーツの奨励

2 具体的取組案

① 専門高校等の更なる充実及び周辺環境の整備

- 職業人として求められる知識・技術等の高度化・複雑化への対応
 - ・実験・実習内容の充実、施設・設備の高度化への対応
 - ・インターンシップや海外留学の積極的な実施 等
- 大学や企業、地域等との連携の促進
 - ・大学教員等による高校での講義、大学等の施設・設備を活用した実習等の実施
 - ・専門高校等からの大学への受入れ枠の整備、拡大
 - ・顕彰制度の活用、各種資格取得の促進 等

○専門高校等に対する理解促進

- ・中学生や保護者に対するPRの推進
- ・啓発活動の実施、知事褒賞制度の拡充 等

② 芸術・スポーツ等を奨励していくための環境整備

- ・学校外での学修の単位認定制度等の活用
- ・芸術やスポーツ分野の産業や雇用の創出 等

III 高校と大学の連携・接続の促進

1 考え方

高い能力と強い意欲を持ち、大学レベルの教育研究に触れる機会を希望する高校生に対し、高校と大学の連携や柔軟な接続を図り、一人一人が持つ多様で特色ある能力を効果的に伸ばすことができる教育環境を整える。

- ➡ ① 高大連携による高校生が大学レベルの教育研究に触れる機会の提供
- ➡ ② 大学への飛び入学の実施の促進
- ➡ ③ 専門高校等生徒や社会人に配慮した柔軟な高大接続の促進

2 具体的取組案

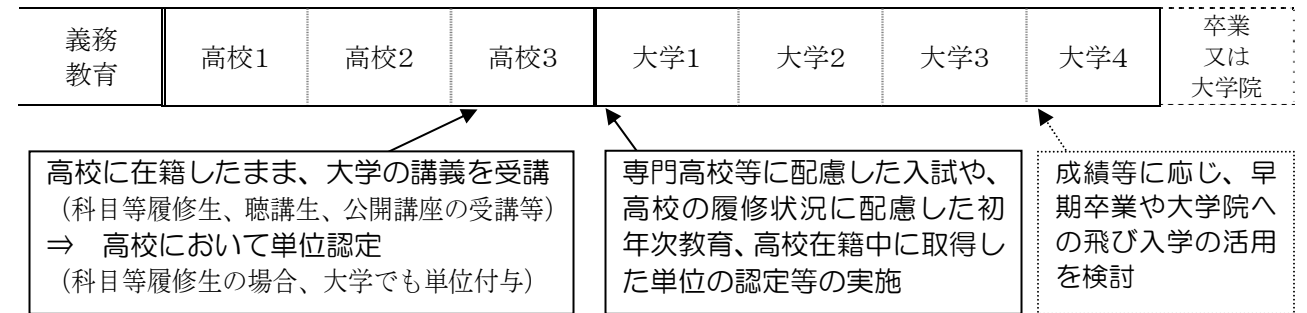
① 高校と大学の教育上の連携推進

- 高校と大学の協議・交流の機会の拡大
 - ・高校と大学の交流・連携ネットワークの構築
 - ・仲介機能や窓口機能の強化 等

○高校生が大学レベルの教育研究に触れる機会の提供

- ・高校生が大学の講義等を受講できる機会の提供
- ・大学教員等による高校での出前講座等の実施 等

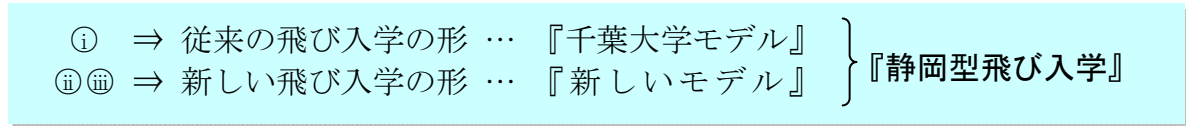
【高校在学中に大学の教育研究に触れる機会のスキーム】



② 静岡型飛び入学の導入

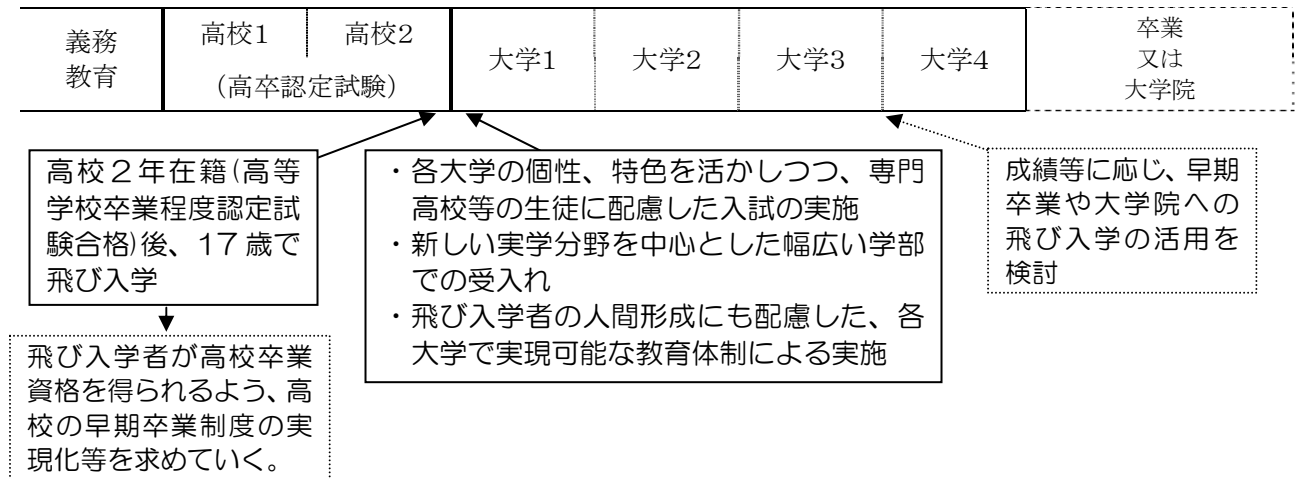
○人材育成の方向性

- ① 大学が定める分野で特に優れた資質を有する者を、研究者として育成する。
- ② 新しい実学の分野で特に優れた資質を有する者を、より高度で専門的な知識・技術を持った高度職業人として育成する。
- ③ 早い段階で、学力・能力が大学の求める水準に達している者を、多様な分野で社会や地域をリードする人材として育成する。



【静岡型飛び入学のスキーム】

- ・現行制度の枠組みの中で、幅広い分野で柔軟な飛び入学の導入を目指す。
(将来的には17歳を待たずに飛び入学できるよう、法改正を求めていく。)



③ 高校と大学の柔軟な接続促進

○専門高校等の生徒、卒業者、社会人に配慮した大学入学者選抜

- ・専門高校等の生徒を対象とした入試の実施や専門高校等生徒に配慮した入試科目の検討
- ・専門高校等を卒業した社会人に配慮した入試の実施 等

○高校、大学それぞれの履修内容等に配慮した教育

- ・大学における初年次教育、補習授業や高校での履修状況に応じた授業等の実施
- ・高校の教育内容と大学入試や大学における教育内容との連続性の確保 等

○その他の取組

- ・国際バカロレア認定校や単位制高校、中高一貫教育校等の推進の検討 等